

(学年) 第1学年、(教科・科目) 国語科

一斉学習

(単元) 声に出して古典に親しもうー蓬萊の玉の枝「竹取物語」よりー

(本時のねらい)

くらもちの皇子の作り話をまことしやかに話そう

(ICT 活用方法)

授業支援クラウドアプリに貼っている資料を参考にしたり、インターネットで検索して調べたりして、現代語訳を考えた。

デジタル教科書を提示し課題を共有した。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導上の留意点	I C T活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の復習 ・「竹取物語」冒頭部分をペアで交互に音読（できれば暗唱）する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読している内容を想像しやすいように、絵やヒントを提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板に絵やヒントを提示。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・蓬萊の玉の枝（くらもちの皇子の冒険談）の原文において、歴史的仮名遣いや気をつける部分を探して、ノートに書き留める。 ・くらもちの皇子がどのような冒険談を話したのか、原文をもとに、話した内容（現代語訳）を授業支援クラウドアプリに書く。 ・ペア学習で原文の音読と、考えた現代語訳を交互に発表する。 ・代表者の発表。 	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しくなり過ぎないように、必要最低限の説明にとどめる。わからないときは、教科書を参考にしよう伝える。 ・教科書のままの表現にならないよう注意喚起する。 ・授業支援クラウドアプリに貼った資料（絵）を参考にしよう伝える。どうしても調べたいときは、インターネットを使って調べてもよいことにする。 ・ペアでの発表をしっかりと行い、前で発表できるように練習しよう伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業支援クラウドアプリのワークシートへ記入。 ・インターネットでの検索。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り どのような話が本当のように聞こえるか、自分はどんな工夫をしたのか振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初にワークシートを配っておいて、最後に振り返りを行うこと、その際の観点を伝えておく。 	

(授業の様子)



電子黒板への書き込み



電子黒板と黒板の併用

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

一人一台端末があると対話できにくい場合がある。一人一台端末と言葉の活用のバランスを上手に取る必要がある。